

OUTLINE of Shizuoka University Library

静岡大学附属図書館概要



本館



浜松分館

2018

静岡大学附属図書館概要 2018

目次

図書館長挨拶	1
静岡大学附属図書館のいま ～平成29年度活動状況～	2
館内案内	4
1. 平面図	
2. 主要室面積及び座席数	
情報システム	8
1. 情報システムの概要	
2. 電子資料等	
主要コレクション	10
1. 大型コレクション	
2. 特殊コレクション	
3. その他の主要コレクション	
資料統計	12
1. 受入数	
2. 蔵書数	
3. 視聴覚資料数	
4. 分類別蔵書冊数	
5. 図書館経費	
学術リポジトリ	13
1. 資源タイプ別コンテンツ数	
利用統計	14
1. 開館日数等	
2. 入館者数	
3. 館外貸出冊数	
4. ILL 文献複写件数	
5. ILL 現物貸借冊数	
6. セミナー参加人数	
刊行物等	16
1. 冊子体目録	
2. 定期刊行物・その他	
組織機構	17
1. 機構図・職員配置	
2. 附属図書館委員会委員	
沿革	18
1. 略年史	
2. 歴代館長・分館長	
交通案内／図書館位置図	22
浜松分館長挨拶	24

はじめに

附属図書館長
澤田 均



静岡大学は来年（2019年）6月に創立70周年を迎えます。その静岡大学両キャンパスの知のシンボルであり、大学の使命を支える重要な学術情報基盤が、静岡大学附属図書館です。附属図書館は4つの領域（学術情報資源整備、学習支援、研究支援、社会連携）について積極的に機能することを目標にしています。この目標を達成するために、様々な事業を計画・実施しておりますが、この『静岡大学附属図書館概要2018』は、附属図書館の現状と事業の内容を分かりやすくまとめたものです。

2018年度、附属図書館では主に、①附属図書館浜松分館の整備を進め、オープン後の学生の多様な学びを支援すること、②本学の学術リポジトリについて、教員への周知活動を継続するとともに、リポジトリシステムの利便性向上を図り、研究成果の登録を促進することを計画しています。このうち、附属図書館浜松分館では第1期工事（2014年度に完了）に引き続き、2016年度補正予算により第2期工事を着工、2018年3月末に無事終了し、去る6月28日に全面オープンいたしました。第1期エリアおよび第2期エリアの異なる機能を効果的に活用することにより、学生の多様な学びを支援してまいります。

学術リポジトリについては、2018年1月に国立情報学研究所による新しいシステム（JAIRO Cloud）に移行し、研究成果の登録を順調に進めております。一方、電子リソースについては、本学にとっても極めて難しい問題ですが、必要不可欠な電子リソースの安定的な確保に向け、2019年度以降の整備方針について検討を進めているところです。

静岡大学では2015年より、留学生、日本人を対象とした人材育成プログラム「アジアブリッジプログラム（ABP）」をスタート、2016年には「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」に基づき、新たな教育プログラム「地域創造学環」をスタートしました。さらに、2018年には浜松医科大学との共同教育課程（博士課程）「光医工学共同専攻」を設置いたしました。静岡大学附属図書館は、このような新たな教育課程・教育プログラムをしっかりと支援してまいります。今後とも、皆様のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成30年7月

静岡大学附属図書館のいま ～平成29年度活動状況～

静岡大学附属図書館の使命

静岡大学附属図書館は、静岡大学の使命を支える学術情報基盤として、「*Tolle lege*（手に取って読みなさい）」の精神のもと、積極的に機能することを目指します。



学術情報資源整備	学習支援	研究支援	社会連携
大学改革、教育・学習・研究のニーズに合った資料を選定し、収集・整理・保存・提供します。蔵書や電子リソース等の利用促進および蔵書スペースの有効利用に努めます。	学生の能動的学習を含めた学習全般を支援するため、館内の学習環境の整備に努めるとともに、学内教員・組織、他大学図書館と協力して情報リテラシー教育を推進します。	本学学術リポジトリを充実させ、学内研究者の研究成果を保存するとともに世界に発信します。また、研究に必要な文献や情報の提供に努めます。	地域社会との交流や国内外の組織との協力を積極的に進め、知の交流点として社会に貢献します。図書館の活動を社会に発信します。

学術情報資源整備

◆電子リソースの整備

電子リソース検討委員会、企画戦略会議において平成30・31年度の電子リソース（電子ジャーナル・データベース）購入方針を審議・決定し、学術情報基盤の整備を図りました。

研究支援

◆JAIRO Cloud へ移行

静岡大学学術リポジトリ（SURE）を、国立情報学研究所共用リポジトリサービス（JAIRO Cloud）へ平成30年1月に移行し、利用者の利便性及び管理面での機能向上を図りました。

社会連携

◆静大フェスタで 図書館ツアー・しおり作り開催

キャンパスフェスタin静岡において、「図書館の奥まで探検ツアー」を実施。図書館職員が書庫を案内し、旧制高等学校や師範学校の時代から積み重ねられたコレクションを紹介しました。

また、テクノフェスタin浜松において、附属図書館利用学生モニターが企画した「しおり作り」を開催。幅広い年齢の方が参加され好評でした。あわせて学生モニターが浜松分館所蔵の図書の紹介を行いました。

学習支援

◆図書館利用セミナーの実施等

図書館利用セミナー、外部講師によるデータベース講習会（英語による講習会を含む）を計95回実施し、のべ3,038名が参加しました。また、授業（図書館概論）の1コマに協力し、図書の整理業務について担当しました。

学生協働の推進

附属図書館利用学生モニターとして、本館10名、浜松分館12名の学生が、附属図書館職員と協働し、書店に向いての選書、展示のためのPOP作成、七夕笹飾り（浜松分館）、福袋企画（本館）等、様々な活動を行いました。また、モニター会議では、学生視点の多くの意見が出されました。



選書した本の展示（本館）



図書館ツアー（本館）



七夕笹飾り（浜松分館）



しおり作りの様子（浜松分館）



福袋企画（本館）

浜松分館がリニューアルオープンしました



附属図書館浜松分館は、改築・改修工事が完了し、平成30年6月28日にリニューアルオープンしました。これまでのグループで話し合いながら学習できる東側エリアとは対照的に、今回、改築・改修された西側エリアは静かに集中して学習できるスペースや機能を確保し、学生の皆様の多様な学びを支援していきます。



◀ 1階：読書テラス
緑に囲まれた屋外で読書を楽しんだり、くつろぐことができます。



▲ 1階：新聞・新着雑誌コーナー
新聞や雑誌を読みながらゆったりと過ごせる快適なエリアです。



▲ 1階：PCワークエリア
シンクライアントPCやノートPCが設置してあります。



▲ 1階・2階：開架図書閲覧室
約10万冊の開架図書が配架されています。また、閲覧席も多数あります。



▲ 2階：グループ学習室
グループで学習できる部屋が2部屋あります。



関口壮吉先生胸像

オープニングセレモニーの開催

6月28日に浜松分館完成記念式典及び内覧会を挙行了しました。
学内外から約30名の方に参加いただきました。



▲ 3階：開架雑誌閲覧室
開架雑誌のバックナンバーが配架されています。



▲ 3階：個人ブース
一人で集中して勉強できる部屋が4部屋あります。

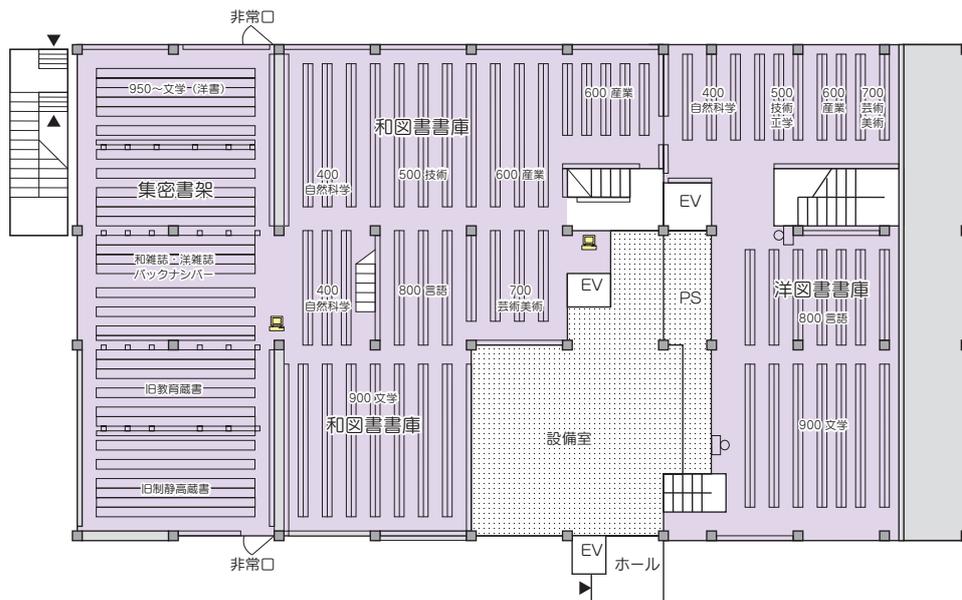


館内案内

1. 平面図

◆ 本館

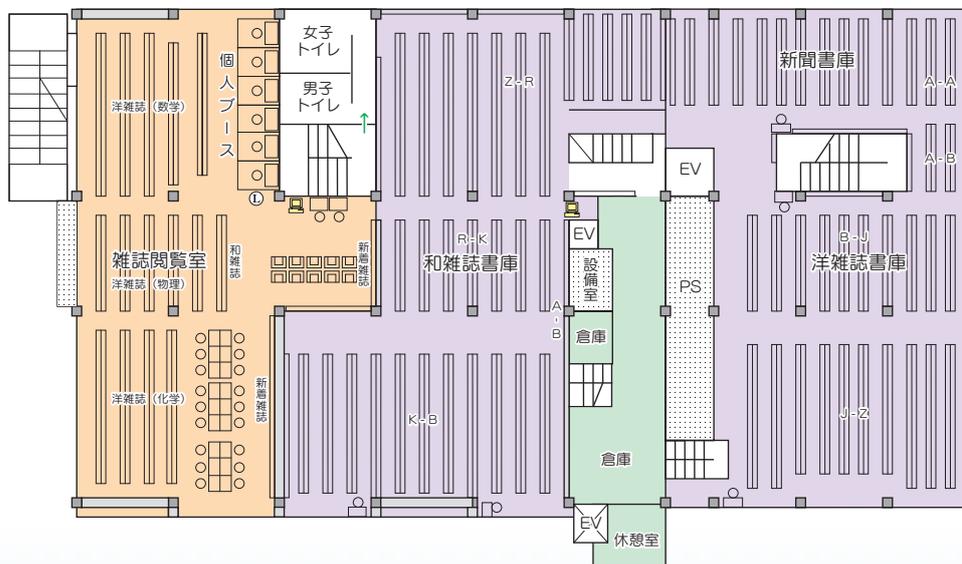
1 階



2 階



3 階

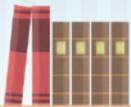


2. 主要室面積及び座席数

	階数	室名	面積	座席数	備考
本館	1階 1,380㎡	書庫 その他	1,054㎡ 326	2席	一部集密書架
	2階 1,305㎡	書庫 その他	1,192 113	3	
	3階 1,495㎡	書庫 雑誌閲覧室 個人ブース その他	839 334 24 298	6 28 6	開架雑誌
	4階 1,533㎡	開架閲覧室 ラウンジ 複写室 サービスカウンター ギャラリー 館長室 事務室 その他	546 103 13 84 44 58 342 343	126 22 20	参考図書、新聞コーナー、PCワークエリア、視聴覚エリア、国際交流エリア
	5階 1,503㎡	開架閲覧室 ハーベストルーム 地域・特別資料室 マイクロ資料室 その他	821 244 95 30 313	202 68 1 2	開架図書
	6階 563㎡	図書館会議室 セミナールーム その他	119 139 305	48	
	7階 248㎡	書類庫等 その他	43 205		
	本館合計		8,027㎡	534席	書架延長 27,130m 収容可能冊数 753,625冊

浜松分館	1階 1,710㎡	エントランス・ラウンジ ギャラリー 書庫 新聞コーナー・新着雑誌コーナー PCワークエリア 開架図書閲覧室 分館長室 図書館事務室 その他	164㎡ 54 258 128 191 453 18 107 337	30席 24 63	集密書架 開架図書、文庫、新書
	2階 2,461㎡	グループワークエリア セミナールーム・CALL教室 書庫 グループ学習室 学習エリア 開架図書閲覧室 その他	958 145 354 61 267 464 212	202 52 20 46 35	パーソナルワークエリア、地域産業史エリア、多文化交流エリア、視聴覚エリア、Graduates' Hub 集密書架 参考図書、大型本 開架図書
	3階 511㎡	交流サロン 開架雑誌閲覧室・個人ブース その他	83 304 124	6 23	開架雑誌
	浜松分館合計		4,682㎡	501席	書架延長 12,709m 収容可能冊数 353,027冊

合計		12,709㎡	1,035席	書架延長 39,839m 収容可能冊数 1,106,652冊
----	--	---------	--------	-----------------------------------



静大クラウド



WWWサーバ OPAC・myLibrary
<http://www.lib.shizuoka.ac.jp/>



業務用サーバ
業務用DB



静岡大学学術リポジトリサーバ
<https://shizuoka.repo.nii.ac.jp>



ターミナルサーバ
業務用アプリ実行環境



利用者のPC、携帯
[館内・学内]

インターネット



学外からの利用

静大LAN

シンクライアント環境
業務用端末は情報基盤設備の
シンクライアントを使用



無線LANアクセスポイント

カウンター業務用PC

情報コンセント

自動貸出返却装置

OPAC 検调用 PC

PCワークエリア

セミナールーム (静岡)

セミナールーム・CALL 教室 (浜松)

国立情報学研究所
CiNii, NII-REO,
NACSIS-CAT/ILL など

電子ジャーナル
データベース
その他学外の情報資源

情報端末	本館	浜松分館	計
利用者用PC	22台	65台	87台
利用者用シンクライアント	70台	18台	88台
OPAC検索端末	14台	4台	18台

2. 電子資料等

○主要な電子ジャーナル

- Science Direct (エルゼビア社) ※フリーダムコレクション契約
利用タイトル数 2,282 (バックファイルは概ね1998年から利用可能)
- Wiley Online Library (ワイリー・ブラックウェル社)
利用タイトル数 1,401 (バックファイルは概ね1997年から利用可能)
- Springer Link (シュプリンガー社)
利用タイトル数 1,718 (バックファイル契約誌は創刊号から、その他は2000年から利用可能)
- American Chemical Society Full Package (アメリカ化学会)
利用タイトル数 56
- Nature (本誌、Nature Digest含む) 1987年～
- Science 1880年～
- JSTOR Arts & Sciences I Archive Collection (経済学、歴史学、政治学、社会学、言語学、教育学など
人文社会科学系のほか、環境学、数学、統計学 計115誌のアーカイブ)

○電子ブック

- Cambridge Core (購入タイトル 155件)
- EBSCOhost eBook Collection (購入タイトル 150件)
- Emerald Insight (購入タイトル 91件)
- Infobase Publishing eBooks (購入タイトル 246件)
- Maruzen eBook Library (購入タイトル 913件)
- ProQuest Ebook Central (購入タイトル 23件)
- ScienceDirect (購入タイトル 77件)
* この他に購読モデルのMethods in Enzymology (82件) がある
- Springer Link eBooks (購入タイトル 7,107件)
- Wiley Online Library (購入タイトル 35件)

○データベース (ネットワーク)

- CiNii (論文や図書・雑誌などの学術情報検索データベース)
- Web of Science (全分野における主要な学術雑誌の論文情報・引用関係データベース)
- Journal Citation Reports (主要学術雑誌評価データベース)
- MathSciNet (数学関係文献データベース)
- SciFinder (化学関係文献データベース)
- PsycINFO (心理学関係文献データベース)
- Lexis Advance (国外法律情報文献データベース)
- TKC ローライブラリー・ロースクール (国内判例関係文献データベース)
- LLI統合型法律情報システム (法科大学院・人文社会科学部および図書館のみ)
- bookplus (図書情報検索データベース)
- magazineplus (雑誌論文・記事検索データベース)
- 聞蔵II ビジュアル (朝日新聞記事データベース)
- ヨミダス歴史館 (読売新聞記事データベース)
- 静岡新聞データベース plus 日経テレコン (静岡新聞及び日本経済新聞記事データベース)
- 官報情報検索サービス
- JapanKnowledge Lib (「日本大百科全書」ほかのネット版)
- 日経BP記事検索サービス
- 化学書資料館 (日本化学会編集の図書全文検索および化合物検索データベース)
- JSA Library Server (JISの電子版) (浜松キャンパスのみ)



主要コレクション

1. 大型コレクション

文庫名	内容	設置年
◆国際連盟刊行物資料	第一次大戦後設立された国際連盟は、国連の前身をさすもので、本館所蔵文書数は3,571点あり、公式記録、経済、金融、社会、法、委任統治、奴隷取締、政治、運輸交通、軍縮、財政、麻薬取締、文化協力、連盟事務局、一般、レファレンスの16部門に分類され、特に連盟総会の公式記録がほぼ揃っている。政治、経済、社会、教育等の戦間期研究にとって、この資料は不可欠であるとともにこれらの文書は、国立国会図書館が所蔵する連盟資料と相互補完をなしており、貴重な資料である。	昭和54年度
◆原家旧蔵江戸後期 芸文資料	静岡県駿東郡大平村（現沼津市）の旧家、原家に代々伝来された資料を購入したものである。 この資料は江戸後期を中心に明治期にまで及ぶ全451点1,281冊からなり、俳諧書を中心に、歌書、戯作類、絵画、地誌、仏教書、国学関係書、そして自然科学書をも含む、広い範囲にわたる貴重なコレクションである。日本文学、日本歴史の研究者をはじめ、多方面の研究者の利用が期待される。冊子目録「原家旧蔵江戸後期芸文資料目録」を作成。	昭和61年度
◆近現代ドイツ 資料コレクション	1-1. Statistik des Deutschen Reichs (Neue Folge), Bd.I-601, 1884-1944. 1-2. Statistisches Jahrbuch deutscher Gemeinden, Bd.I-70, 1890-1983. 1-3. Preußische Jahrbucher, Bd.I-240, 1858-1935. 2-1. Acta Borussica:Denkmaler der preußischen Staatsverwaltung im 18.Jahrhundert, 1892-1936. 2-2. Jahresberichte der Gewerbe- Aufsichtsbeamten und Bergbehorden, 1876-1937/38. 2-3. Preußische Statistik, Bd.I-305, 1861-1933. 2-4. Schriften des Vereins fur Sozialpolitik (Alte Folge), Bd.I-188, 1873-1939. 3-1. Allgemeines Statistisches Archiv, Bd.I-85 1890-2001. 3-2. Jahrbuch fur Gesetzgebung , Verwaltung und Rechtspflege, Bd.I-4, 1871-1876. 3-3. Schmollers Jahrbuch fur Gesetzgebung , Verwaltung und Volkswirtschaft , Bd.I-68, 1877-1944. 3-4. Schriften des Vereins fur Sozialpolitik (Neue Folge), Bd.I-220, 1949-1993. 3-5. Zeischrift fur die gesamte Staatswissenschaft, Bd.I-141, 1844-1985. 近現代ドイツの経済、政治、社会、文化を研究するための基礎資料であり、基本的な数量的データを得ることができる。 なお、下記2点が本学特別経費で購入され、所蔵されている。 1. Statistik des Deutschen Reichs (Alte Folge), Bd.I-63, 1873-1883. 2. Statistisches Jahrbuch fur das Deutsche Reich, Bd.I-59, 1880-1941/42.	昭和62年度、 平成2年度及び 平成5年度
◆Le Monde, Dec.1944-Dec.1983 (microfilm)	1944年にパリで創刊された新聞、世界のエリート紙の代表格である。特定の政党や資本に左右されない自主独立の体制、卓越した解説と分析、冷静かつ公平な報道に由来するもので、国際情勢に関してかなりの重点が置かれている。	昭和59年度

文庫名	内 容	設 置 年
◆Landolt-Bornstein Numerical Data [ランドルト・ベルン シュタイン定数表]	本定数表は、素粒子、原子核の分野から原子・分子、結晶などの構造や物性、溶液化学、工業化学、地球鉱物までを含む、科学・技術に関する膨大な実験データ集である。特に既刊行（1994年現在）のうち物性分野は充実している。	本館既蔵書分に 平成7年度補強
◆欧米比較政治学 基本資料集成	1. American Journal of Political Science. Vols. 1-39 (1957-1995) 2. Comparative Political Studies. (C.P.S) Vols. 1-29 (1968/69-1996) 3. Comparative Politics. Vols. 1-29 (1968/69-1996/97) 4. European Journal of Political Research. Vols. 1-28 (1973-1995) 5. Journal of Public Policy. Vols. 1-12 (1981-1992) 6. Journal of Politics. Vols. 1-58 (1939-1996) 7. World Politics. Vols. 1-49 (1948/49-1995/96) 今日では古典となりつつある比較政治学上の画期的で重要な論文・寄稿・記事等を所収した主要誌を体系的に蒐集・集成したものである。	平成11年度

2. 特殊コレクション

文庫名	内 容	設 置 年
◆河井文庫 明治、大正期の 新聞コレクション	自由民権期では、「静岡新聞」「静岡大務新聞」が断片的に収蔵されているほか、東京の「朝野新聞」がかなりある。明治後期の「静岡新報」、明治後期から大正末期までの「静岡民友新聞」がこの文庫の圧巻である。さらに同じ時期の「報知新聞」「東京朝日新聞」「万朝報」「東京日々新聞」等の静岡版を有している。これらの新聞は地域研究には不可欠な資料である。「静岡民友新聞」と「静岡新報」はマイクロフィルム版を作成。冊子目録「河井家寄贈新聞目録」を作成。	掛川の河井家当 主重友氏のご厚 意により1957年 に当館に寄贈

3. その他の主要コレクション

◆鈴木安蔵氏資料

[本学文理学部長を務めた憲法学者鈴木安蔵のスクラップブックなど]

◆United States decennial census publications, 1790-1970 (microfilm)

[アメリカ国税調査報告書 第1～19回]

◆All U.S. Department of Agriculture publications (microfiche)

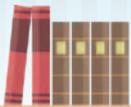
[アメリカ農務省全出版物]

◆Social and economic development plans, except for Africa (microfiche)

[世界各国の社会経済開発計画資料集]

◆Aetas Kantiana (reprint ed.)

[カント時代哲学書復刻シリーズ]



資料統計

1. 受入数

平成29年度（平成30年3月31日現在）

区分	図書				雑誌			
	和書	洋書	計	前年度計	和雑誌	洋雑誌	計	前年度計
本館	8,092	588	8,680	6,918	1,136	189	1,325	1,541
浜松分館	2,529	148	2,677	3,551	302	30	332	313
合計	10,621	736	11,357	10,469	1,438	219	1,657	1,854

2. 蔵書数

平成29年度（平成30年3月31日現在）

区分	図書				雑誌			
	和書	洋書	計	前年度計	和雑誌	洋雑誌	計	前年度計
本館	656,369	251,105	907,474	907,109	11,622	4,650	16,272	16,282
浜松分館	198,797	98,471	297,268	294,605	2,324	1,897	4,221	4,201
合計	855,166	349,576	1,204,742	1,201,714	13,946	6,547	20,493	20,483

3. 視聴覚資料数

平成29年度（平成30年3月31日現在）

区分	マイクロフィルム	マイクロフィッシュ	ビデオテープ	CD-ROM	CD/LD	DVD	その他	計	前年度計
本館	3,872	554	136	109	383	858	142	6,054	12,589
浜松分館	200	0	442	138	177	716	24	1,697	1,679
合計	4,072	554	578	247	560	1,574	166	7,751	14,268

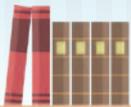
4. 分類別蔵書冊数

平成29年度（平成30年3月31日現在）

区分	本館			浜松分館			合計	前年度計
	和書	洋書	計	和書	洋書	計		
0 総記	54,393	8,991	63,384	15,158	4,262	19,420	82,804	81,538
1 哲学	36,198	19,770	55,968	10,448	1,109	11,557	67,525	67,335
2 歴史	82,912	12,866	95,778	8,822	586	9,408	105,186	103,183
3 社会科学	208,725	72,891	281,616	27,207	853	28,060	309,676	312,662
4 自然科学	75,945	60,114	136,059	51,068	52,548	103,616	239,675	238,943
5 技術	33,932	5,143	39,075	56,529	31,020	87,549	126,624	126,027
6 産業	42,396	8,050	50,446	2,829	159	2,988	53,434	53,232
7 芸術	28,134	4,562	32,696	6,141	420	6,561	39,257	39,344
8 語学	25,042	15,949	40,991	9,120	3,846	12,966	53,957	53,392
9 文学	68,692	42,769	111,461	11,475	3,668	15,143	126,604	126,058
合計	656,369	251,105	907,474	198,797	98,471	297,268	1,204,742	1,201,714

5. 図書館経費

- ◇平成29年度 運営関係経費 66,756千円（前年度 72,625千円）
- ◇平成29年度 図書館備付資料費 144,485千円（前年度 144,917千円）
- ◇平成29年度 その他の経費 9,364千円（前年度 30,166千円）



学術リポジトリ

1. 資源タイプ別コンテンツ数

(平成30年3月31日現在)

区 分	日本語	外国語	計	前年度末計
Journal Article (学術雑誌論文)	1,377	1,180	2,557	2,530
Thesis or Dissertation (学位論文)	406	206	612	563
Departmental Bulletin Paper (紀要論文)	4,689	220	4,909	4,236
Conference Paper (会議発表論文)	59	7	66	11
Presentation (会議発表用資料)	4	0	4	4
Book (図書)	52	15	67	66
Technical Report (テクニカルレポート)	253	0	253	233
Research Paper (研究報告書)	912	7	919	823
Article (一般雑誌記事)	35	0	35	35
Preprint (プレプリント)	0	1	1	1
Learning Material (教材)	10	2	12	11
Data or Dataset (データ・データベース)	2	1	3	1
Software (ソフトウェア)	0	0	0	0
Others (その他)	343	61	404	404
合 計	8,142	1,700	9,842	8,918

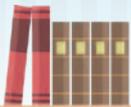
静岡大学紀要は静岡大学学術リポジトリでご覧いただけます

静岡大学学術リポジトリでは、静岡大学の教育研究活動により創出された学術成果等を後世に継承するため収集・保存し、さらに学術研究の発展に貢献するため、学内外に発信・提供しています。

その一環として、大学内刊行物の公開も重点的に行っており、現在刊行中の静岡大学紀要全タイトルの約7割は、原則的に全掲載論文をリポジトリで公開中です。それ以外の紀要も、個別に許諾を得た論文について、公開を行っています。

公開している論文は、検索エンジンやCiNii Articlesで検索可能です。





利用統計

1. 開館日数等

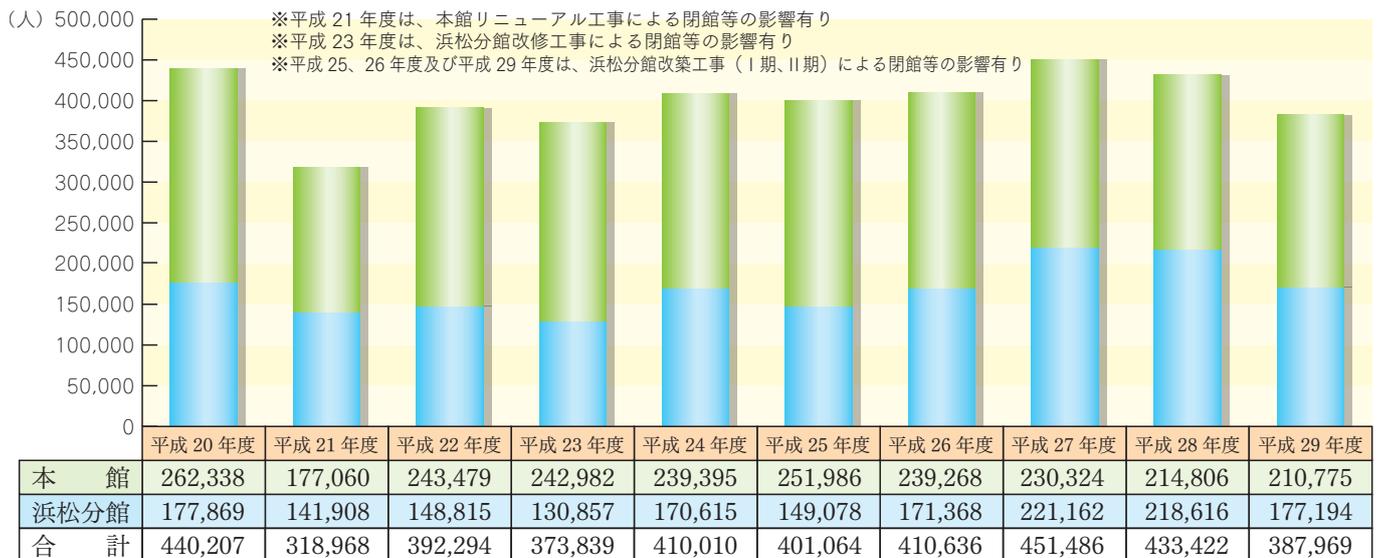
(平成29年度)

(単位：日)

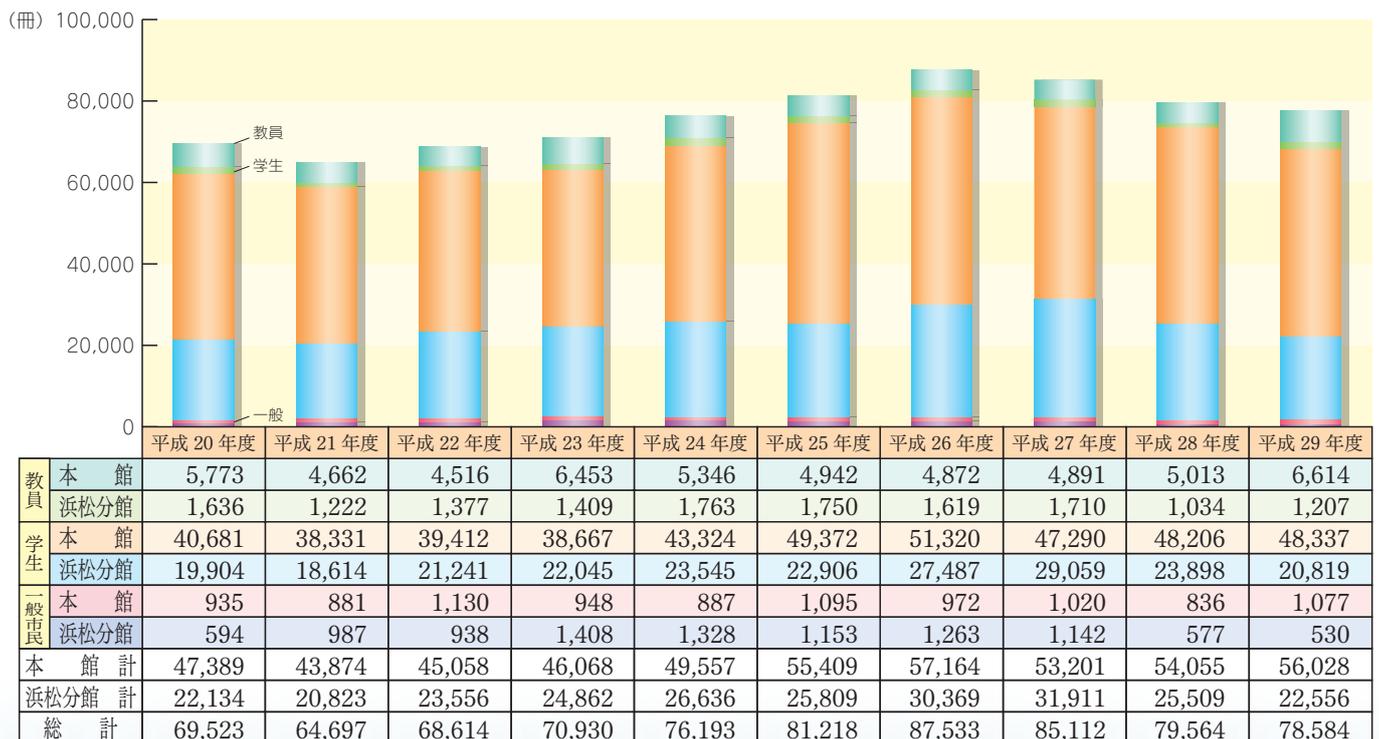
(単位：時間)

区 分	年間開館日数			年間時間外開館時間数		
	平日	土/日・祝	総日数	平日	土/日・祝	総時間数
本 館	233	105	338	890	916	1,806
浜 松 分 館	233	104	337	890	913	1,803

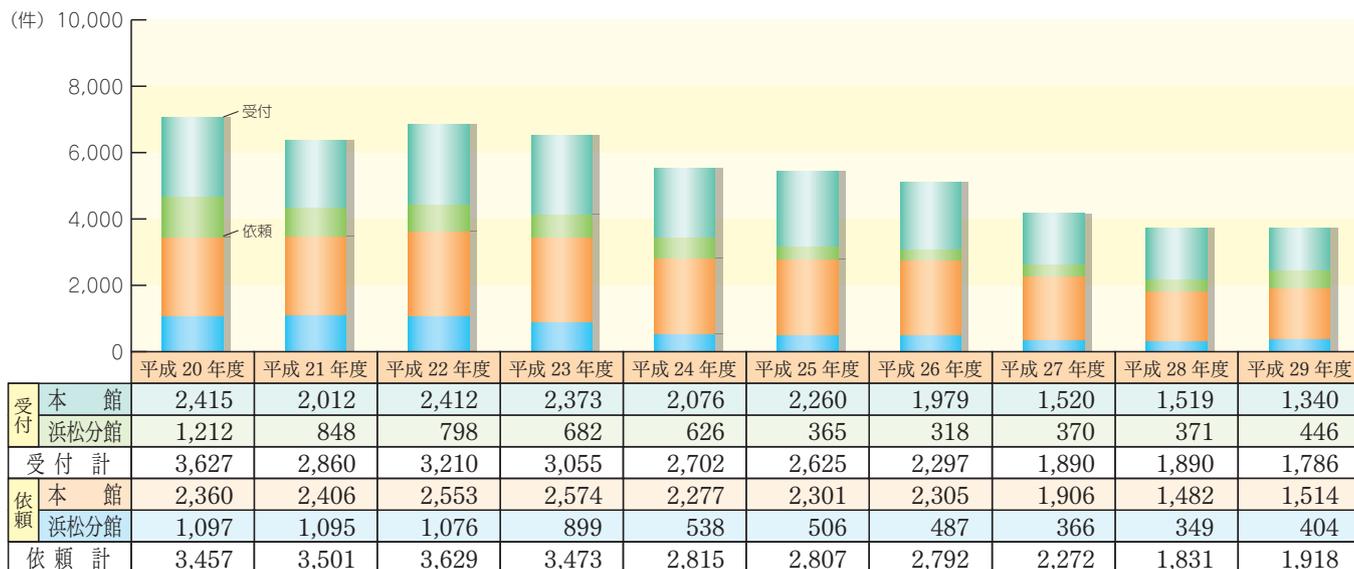
2. 入館者数



3. 館外貸出冊数



4. ILL（図書館間相互協力）文献複写件数



5. ILL（図書館間相互協力）現物貸借冊数



6. セミナー参加人数

	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		
	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	回数	参加人数	
本館	図書館利用セミナー（ベーシック編）	44	1,219	42	1,245	41	1,221	40	1,182	35	1,181
	図書館利用セミナー（ベーシック編）大学院生向け	4	60	3	49	3	52	2	54	2	37
	図書館利用セミナー（アドバンス編）	29	611	30	694	28	689	29	663	30	665
	図書館利用セミナー（後学期）	—	—	—	—	—	—	—	—	2	36
	データベース講習会	5	69	4	61	7	138	8	215	8	267
浜松分館	図書館利用セミナー（ベーシック編）	31	728	13	744	15	732	16	792	14	789
	図書館利用セミナー（アドバンス編）	1	8	—	—	—	—	—	—	—	—
	データベース講習会	3	62	3	56	6	67	4	54	4	63



刊 行 物 等

1. 冊子体目録 ※Webでも公開しています。

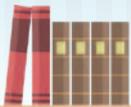
河井家寄贈新聞目録	1975年
宇山文庫目録（英米文学関係資料）	1977年
大場秋雄氏寄贈エスペラント語関係資料目録	1977年
花岡文庫目録（主に民族学関係）	1977年
国際連盟刊行物資料目録 1920年～1946年	1980年
旧制静岡高等学校蔵書と漢書書名リスト	1982年
静岡地方裁判所掛川支部寄贈図書目録（明治期刊行法律書）	1986年
小此本文庫目録（政治史・国際政治関係）	1987年
原家旧蔵江戸後期芸文資料目録	1988年
坂藤英隆氏寄贈目録（中国語刊中国文学）	1988年
黒羽文庫目録（日本近代史関係資料）	1990年
手塚弘保文庫目録（ロシア語による人文科学関係資料）	1993年
河内清文庫目録（フランス自然主義文学関係資料）	1995年
白石信明文庫目録（法律関係専門図書）	1995年
田中敬一文庫寄贈図書目録（フランス文学）	2000年
小澤康彦文庫目録（英文学関係資料）	2001年
五井直弘文庫目録（東洋史関係資料）	2002年

2. 定期刊行物・その他

静岡大学附属図書館概要（年刊）	1979年～
図書館通信（年刊）	1970年～
としょかんニュース（随時）	1997年～2007年
静大図書館 Newsletter（随時）	2007年～
利用のてびき（年刊）	1974年～2005年
Library Navigator（りぶ★なび）（年刊）	2006年～
附属図書館利用マニュアル（教員用）（年刊）	2002年～

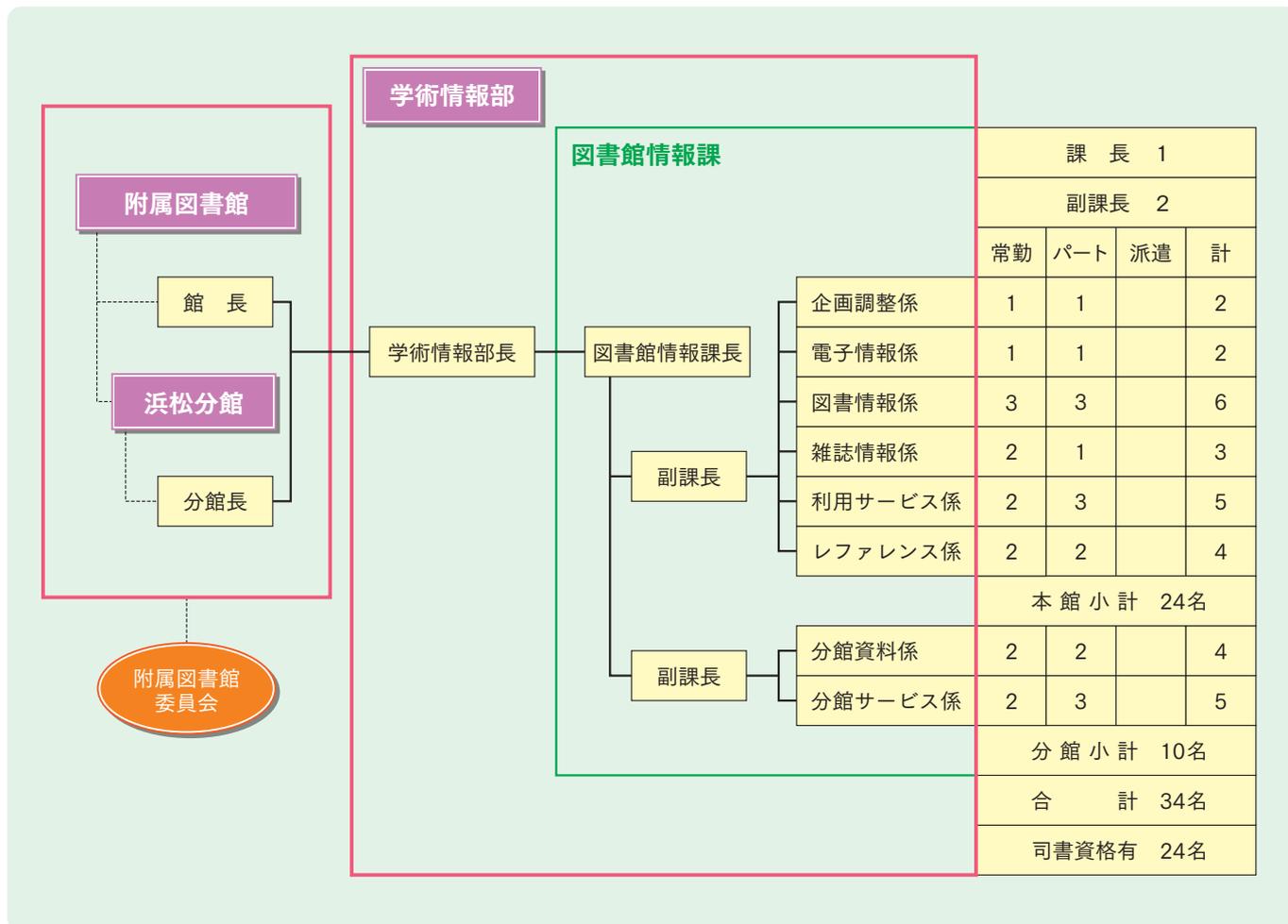
静岡大学附属図書館ホームページ <http://www.lib.shizuoka.ac.jp/>





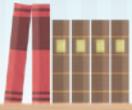
組織機構

1. 機構図・職員配置 ☆平成30年7月1日現在（実数）



2. 附属図書館委員会委員 ☆平成30年度

所 属	職 名	氏 名	備 考
館長（農学部）	教授	澤田 均	委員長
浜松分館長（情報学部）	教授	高松 良幸	広報委員会委員
人文社会科学部	教授	南 富鎮	
教育学部	准教授	米谷 壽代	
情報学部	准教授	山田 耕三	
理学部	准教授	長谷川 慶岳	
理学部	准教授	Sheftall M.G	
工学部	准教授	依岡 輝幸	
農学部	准教授	山中 正道	
農学部	准教授	下村 勝	
農学部	准教授	岡島 いづみ	
法務研究科	教授	平井 浩文	情報基盤センター運営委員会委員
法務研究科	教授	王 権	
法務研究科	教授	石尾 賢二	
法務研究科	教授	山本 好比古	
大学教育センター	講師	櫻井 清隆	
事務局	学術情報部長		



沿革

1. 略年史

年 月	事 項
1949 (昭24) 6	◇静岡大学創立 (文理・教育・工学の3学部)
11	◇図書館規則を制定し、中央図書館は当分の間文学部に置き、各学部・分校の図書室は分室とし、図書館運営の協議連絡機関として新たに図書館委員会を設置
12	◇文学部図書館長が中央図書館長併任 (中央図書館職員は事務長1、係員2)
1951 (昭26) 4	◇県立農科大学が農学部 (磐田) となり、図書館分室を設ける ◇同上分室建築工事竣工
1952 (昭27) 4	◇教育学部三島教場の図書館分室を廃止し、教育学部 (静岡) 分室に統合
1955 (昭30) 4	◇教育学部島田分校の図書館分室を廃止し、教育学部 (静岡) 分室に統合
1958 (昭33) 12	◇中央図書館長選考規則を制定
1959 (昭34) 9	◇中央図書館・分室を合わせて、附属図書館と改称 工・農・教育学部浜松分校に各分館を設置 事務機構は事務長1、係長3、係員7となる
1965 (昭40) 3	◇教育学部浜松分校分館を廃止 ◇教養部西部教場 (浜松) に教養部西部分室を設置 ◇附属図書館長が評議会の構成員となる
1966 (昭41) 4	◇工学部分館を浜松分館と改称
10	◇附属図書館で教養課程指定図書制度を実施
1967 (昭42) 4	◇教養部の大谷地区移転に伴い、臨時図書室 (約5,000冊) 開設
1968 (昭43) 3	◇大谷地区に附属図書館の新館 (RC-5 4,535㎡) が竣工
4	◇教養部西部分室を廃止し、本館に統合
9	◇附属図書館大谷地区に移転
1970 (昭45) 1	◇附属図書館の広報誌「図書館通信」を創刊
1972 (昭47) 3	◇浜松分館の新館 (RC-2 1,471㎡) が竣工
1973 (昭48) 4	◇農学部の大谷地区移転に伴い、農学部分館を廃止し、本館に統合 ◇参考調査係を設置し、4係となる
1977 (昭52) 4	◇部課制を実施するとともに受入係を設置、2課5係となる
1978 (昭53) 3	◇本館増築 (RC-7 3,061㎡) 竣工
1979 (昭54) 11	◇本館の時間外延長開館 (月～金 20:45、土 16:45まで) を実施
1980 (昭55) 4	◇大谷地区各部局の自然系外国雑誌 (149タイトル) 本館に集中
1982 (昭57) 3	◇本館にブックディテクションシステム装置導入
1983 (昭58) 3	◇浜松分館増築 (RC-2 1,035㎡) 竣工
6	◇浜松分館の時間外延長開館 (月～金 20:00、土 17:00まで) を実施 ◇浜松地区自然系外国雑誌 (279タイトル) 分館に集中
1984 (昭59) 1	◇整理課に図書館専門員を配置
3	◇本館の耐震補強工事竣工 ◇本館書庫増築 (669㎡) 竣工
1986 (昭61) 11	◇図書館業務用電子計算機 (HITAC L470Xシステム) 導入
1987 (昭62) 6	◇図書館業務の電算化に対応するため、事務組織を変更 整理課受入係・整理係を廃止して和書係・洋書係とし、新たに学術情報係を設置、2課6係となる
1988 (昭63) 4	◇「国立大学および国立短期大学の事務局等の部及び課に関する訓令」の一部改正に伴い、事務部の名称変更
6	◇利用者用コンピュータ端末による図書検索開始 (開架全図書及び4月以降の新規受入図書)

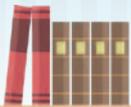
年 月	事 項
1990 (平2) 3	◇本館視聴覚コーナー (4階) を開設
5	◇情報処理センターとの協力により、学内LANを利用したオンライン学内図書検索システム開始
10	◇本館外国雑誌閲覧室 (3階) に無人入退館管理システムを設置、24時間利用可能となる
1991 (平3) 3	◇本館空調設備工事施工 (5階)
4	◇静岡県公共図書館等の資料相互貸借に関する協定に加盟
1992 (平4) 1	◇本館空調設備工事施工 (3、4階)
5	◇完全週休2日制実施に伴う土曜半日 (午前) 開館
1995 (平7) 5	◇附属図書館のホームページを開設
1996 (平8) 3	◇本館地方資料室を移転し、第2閲覧室に模様替
4	◇本館及び浜松分館土曜全日開館実施
10	◇創立50周年記念誌編集室開設 (1999年迄)
1997 (平9) 10	◇本館視聴覚室を改修し、SCSスタジオ開設
11	◇静岡県大学図書館協議会設立、加盟 ◇「幕末・明治期古写真等資料展」開催
1998 (平10) 3	◇CD-ROMサーバ導入 ◇浜松分館にブックディテクションシステム装置導入
7	◇本館第2閲覧室 (ハーベストルーム) にパソコン18台を設置
10	◇事務再編に伴い、事務組織を変更 和書係・洋書係を廃止して資料受入係・目録情報係とし、情報管理課学術情報係をシステム管理係と改称して 情報サービス課に所属
1999 (平11) 1	◇本館書庫入庫時間延長 ◇「幕末・明治期肖像写真展」開催
3	◇浜松分館AVルーム開設
5	◇博士学位論文要旨のホームページ公開
9	◇国際放送視聴コーナー開設
11	◇「写真展 躍動する静岡大学の50年」開催
2000 (平12) 4	◇本館開館時間変更 (月～金 9:00～22:00, 土 11:00～19:00) (試行) ◇浜松分館自動貸出返却装置導入 ◇本館新入生セミナーで「附属図書館利用セミナー」実施 (試行)
2001 (平13) 3	◇本館自動貸出返却装置導入
4	◇本館開館時間変更 (月～金 9:00～22:00, 土 11:00～19:00) ◇浜松分館開館時間変更 (月～金 9:00～21:00, 土 9:00～17:00) (試行) ◇本館・浜松分館新入生セミナーで「附属図書館利用セミナー」実施 (試行)
10	◇利用学生モニターの設置
11	◇図書館総合整備計画 (第一次) - 「知と情報のコーディネーター」へ向けて- の策定
2002 (平14) 2	◇図書館業務用システム (NTTデータ九州 NALIS) 導入
3	◇大学閲覧室の閲覧機・椅子の更新および閲覧室床カーペットの張替え等学習環境の整備
4	◇図書館利用セミナーの実施 (必修科目として正規の単元化)
10	◇日曜・祝日開館及び土曜時間延長の本格実施
2003 (平15) 2	◇本館正面玄関の改修
4	◇学外者への館外貸出サービスを開始 ◇浜松分館平日夜間開館時間を1時間延長

年 月	事 項
2004 (平16) 4	◇法人化に伴い、附属図書館事務部は新設の学術情報部として統合 図書館関係2課(情報管理課・情報サービス課)の組織内変更はなし
2005 (平17) 1	◇OBオフィス開設
6	◇公開イベント「のぞいてみよう大学の図書館」開催
10	◇課・係制からチーム・スタッフ制へ移行 図書館情報チームとなり、3スタッフ(図書館マネジメントスタッフ、学術資料スタッフ、利用サービススタッフ)で構成
2006 (平18) 4	◇図書館情報チームの改組 研究協力・情報図書チームとなり、2課長から1課長2副課長となる
	◇静岡県立中央図書館との資料相互搬送開始
6	◇おうだんくん(県内横断検索システム)へ参加
2007 (平19) 2	◇図書館業務用システム更新
3	◇自動貸出装置増設
8	◇地域目録講習会(図書コース)開催
9	◇本館第2閲覧室(ハーベストルーム)拡張
	◇「静大図書館 NewsLetter」創刊
11	◇写真展「写真でつづる静岡大学の軌跡」開催
2008 (平20) 4	◇静岡大学学術リポジトリ(SURE)本公開
	◇事務再編に伴い、チーム名変更(研究協力・情報図書チームから図書館チームへ)
8	◇附属図書館外部評価委員会開催
2009 (平21) 3	◇浜松分館旧機械室に電動書架設置
4	◇入退館管理システム導入
6	◇ライブラリーセミナー「蘇る安部七騎」開催
2010 (平22) 4	◇本館リニューアルオープン
2011 (平23) 7	◇事務再編に伴い、チーム・スタッフ制から課・係制へ移行 図書館情報課となり、8係(企画調整係、電子情報係、図書情報係、雑誌情報係、利用サービス係、レファレンス係、分館資料係、分館サービス係)となる。
	◇浜松分館改修工事竣工
2012 (平24) 2	◇図書館業務用システム(NTTデータ九州NALIS)更新
4	◇本館・浜松分館開館時間の変更(休日の試験対応期間9:00~21:00)(試行)
6	◇学習支援促進のための三大学連携事業に関する協定を締結(金沢大学、静岡大学、名古屋大学)
2013 (平25) 3	◇本館外壁改修工事竣工
4	◇静大ID(学認対応)によるサービス開始(学外からの電子ジャーナル利用、myLibrary)
5	◇附属図書館外部評価委員会開催
2014 (平26) 8	◇地域連携プロジェクト「キッズチャレンジ静大図書館」を開催(12月にも開催)
10	◇浜松分館リニューアルオープン(1期)
12	◇「静岡大学附属図書館の使命」策定
2015 (平27) 8	◇地域目録講習会(図書コース)開催
2017 (平29) 2	◇図書館業務用システム(NTTデータ九州NALIS)更新
2018 (平30) 1	◇静岡大学学術リポジトリ(SURE)を国立情報学研究所共用リポジトリサービス(JAIRO Cloud)に移行
6	◇浜松分館リニューアルオープン(2期)

2. 歴代館長・分館長

附属図書館長	氏名	所属	在任期間
	富田文雄	文理学部	1949.12.12~1952.12.11
	大河室内貞一郎	〃	1952.12.12~1954.12.11
	山田良之助	〃	1954.12.12~1958.12.11
	山岸五平	学長(事務取扱)	1958.12.12~1959.8.31
	島谷俊三	教育学部	1959.9.1~1961.8.31
	宇野慶三郎	〃	1961.9.1~1963.8.31
	内藤晃夫	養学部	1963.9.1~1965.6.30
	兼岩芳夫人	人文学部	1965.7.1~1967.6.30
	天野佳雄	人文学部	1967.7.1~1969.6.30
	石塚経雄	人文学部	1969.7.1~1971.6.30
	上野実朗	教育学部	1971.7.1~1973.6.30
	中沢正寿夫	教育学部	1973.7.1~1975.6.30
	渡辺安夫	教育学部	1975.7.1~1977.6.30
	豊川卓爾	教育学部	1977.7.1~1979.6.30
	細井寅三郎	人文学部	1979.7.1~1981.6.30
	大中卓郎	工学部	1981.7.1~1983.6.30
	村博保生	教育学部	1983.7.1~1985.6.30
	森口治生夫	教育学部	1985.7.1~1987.6.30
	水野秀健	教育学部	1987.7.1~1989.6.30
	吉本健康	教育学部	1989.7.1~1991.6.30
	小澤保彦	教育学部	1991.7.1~1993.6.30
	久保靖一	工学部	1993.7.1~1995.6.30
	杉田泰一	教育学部	1995.7.1~1997.6.30
	浅井哲一	教育学部	1997.7.1~1999.6.30
	大井江泰一郎	人文学部	1999.7.1~2001.3.31
	番場公雄	人文学部	2001.4.1~2003.3.31
	小和田哲男	教育学部	2003.4.1~2005.3.31
	加藤憲二	教育学部	2005.4.1~2007.3.31
	高松良幸	教育学部	2007.4.1~2013.3.31
	澤田	情報学研究科	2013.4.1~2015.3.31
		農学領域	2015.4.1~

浜松分館長	氏名	所属	在任期間
	市川常男	工学部	1965.4.1~1976.3.31
	松本欣二	〃(事務取扱)	1976.4.1~1976.4.30
	井本文夫	〃	1976.5.1~1980.3.31
	大月卓郎	〃	1980.4.1~1983.6.30
	藤田郁夫	〃	1983.7.1~1987.6.30
	大田山郁夫	〃	1987.7.1~1989.6.30
	藤田郁夫	〃	1989.7.1~1991.6.30
	清水孝仁	〃	1991.7.1~1995.6.30
	石井邦夫	〃	1995.7.1~1997.6.30
	渥美静致	〃	1997.7.1~1999.3.31
	岡村哲宏	〃	1999.4.1~2001.3.31
	鎌田川朗	情報学部	2001.4.1~2003.3.31
	市川銅亨	工学部	2003.4.1~2004.3.31
	野宮正彦	〃	2004.4.1~2005.3.31
	雨中島伸治	情報学部	2005.4.1~2009.3.31
	中高松良幸	工学部	2009.4.1~2011.3.31
	梅本宏信	情報学部	2011.4.1~2013.3.31
	高松良幸	工学研究科	2013.4.1~2015.3.31
		情報学領域	2015.4.1~



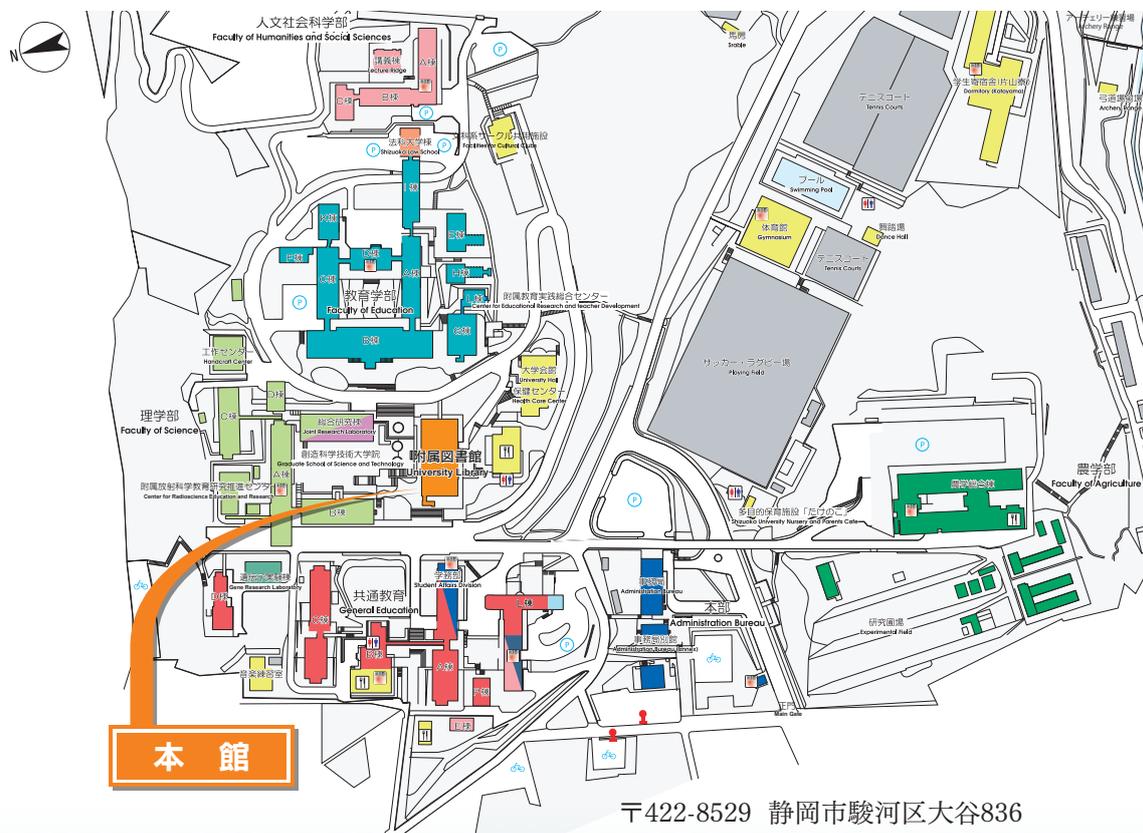
交通案内・図書館位置図

静岡キャンパス交通案内



JR 静岡駅北口のしずてつジャストラインバス 8 B 番乗り場から美和大谷線「静岡大学」行き、「東大谷」（静岡大学経由）行き、「ふじのくに地球環境史ミュージアム」（静岡大学経由）行きに乗りし「静岡大学」又は「静大片山」で下車。美和大谷線「東大谷」（静岡大学を經由しないもの）行きに乗りした場合は、「片山」で下車。（所要時間 25 分、1 時間に 5～7 本運行）

静岡キャンパスマップ



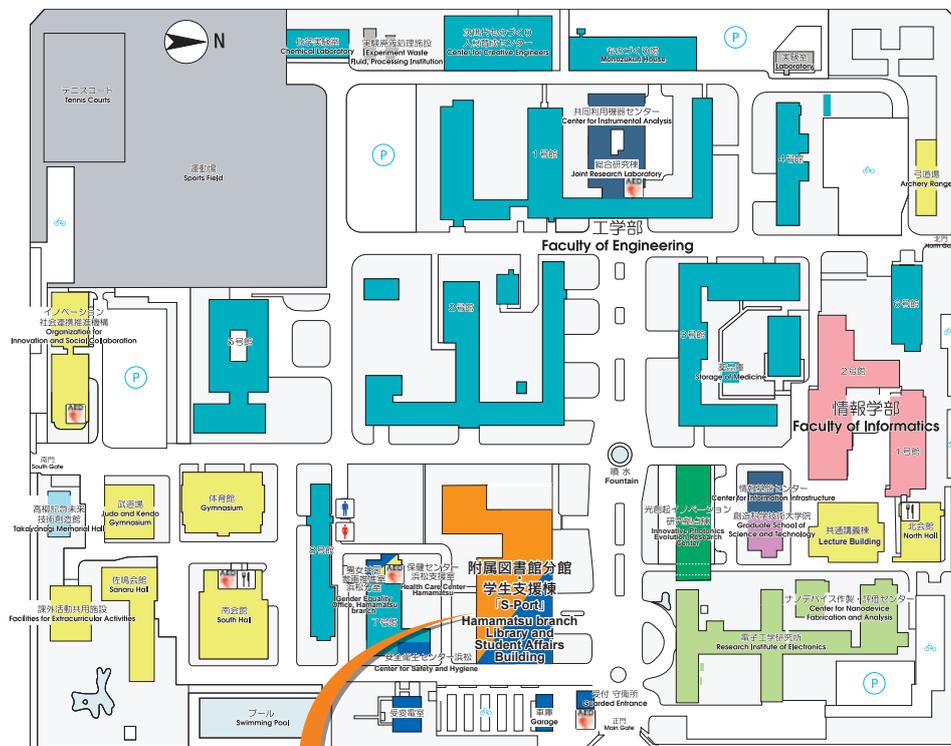
〒422-8529 静岡市駿河区大谷836
TEL : 054-238-4474 FAX : 054-238-5408
E-mail : tosyokan@adb.shizuoka.ac.jp

■ 浜松キャンパス交通案内



JR 浜松駅北口バスターミナルの遠州鉄道バス 15 番又は 16 番乗り場から乗車し、「静岡大学」下車
 (所要時間約 20 分、1 時間に 10 本程度運行)
 JR 浜松駅からタクシーで約 10 分

■ 浜松キャンパスマップ



浜松分館

〒432-8561 浜松市中区城北三丁目5-1
 TEL : 053-478-1391 FAX : 053-478-1392
 E-mail : lib-hama@adb.shizuoka.ac.jp

図書館と喫茶店

附属図書館浜松分館長
高松 良幸



昨年本欄で予告していました通り、浜松分館改築の第2期工事が完了し、6月28日、浜松分館ならびに「S-Port」の完成記念式典を迎えることができました。第2期工事で建て直された建物は、開架図書・雑誌閲覧室、学習エリア、PCワークエリア、個人ブースなどを配置し、静謐な環境の中、読書や個人的な学習、思索などに没頭できるスペースであり、利用者が出会い、語り合いながら学び考えるラーニング・コモンズ・スペースとして設計された第1期工事で完成した区画とは異なる性格を有しています。

私は学生時代、授業以外の時間、大学内外で過ごす場所といえば、図書館と喫茶店（夜は居酒屋）でした。図書館では学部の専門分野だけではなく、さまざまな分野の本が揃っていていろいろな知的情報を収集、消化することができました。学部とは異なる分野で大学院に進んだ私にとって、充実した図書館は、大学の中で最も役に立った場所といっても過言ではありません。

一方、行きつけの喫茶店はサークルの連絡場所になっていて、顔を出すとたいていはさまざまな学部にも所属するサークルのメンバーがいて、専門分野の壁を越え、真面目な話にも、どうでもいい話にも花が咲くという状態でした。また、サークルのメンバー以外でも、店員さんや顔見知りのお客さんとの話に花が咲くこともありました。しかし思い返せば、そこで語り、聞きながら考えるさまざまなことが、自分自身を形づくる糧となったと思います。そこで培われた仲間とのつながりは、40年近くを経ても途切れることはありません。

完成した浜松分館を見た個人的な感想は、私が学生時代に過ごした2つの場所が、1つの場所に集約されたようなものだ、ということです。新しい図書館は、利用者それぞれの糧になるように使っていただければと思いますが、私の個人的な体験がそのための小さな参考事例となればと思います。



静岡大学附属図書館概要 2018

平成30年7月発行

編集・発行 静岡大学附属図書館
〒422-8529 静岡市駿河区大谷8 3 6
Tel : 054-238-4474
Fax : 054-238-5408
URL <http://www.lib.shizuoka.ac.jp/>